

# 水 土 里

み

ど

り

第5号 ● 平成16年1月発行

ashikaga mi do ri tanteidan

NPO法人 足利水土里探偵団

〒326-0801 栃木県足利市有楽町835 足利商工会議所北事務所内

TEL 0284-41-1354・FAX 0284-44-0377

## 新年を迎えて・・・

理事長 勅使川原 敏一

輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、足利水土里探偵団も発足以来1年9ヶ月が経ちました。生ゴミ堆肥化・河川の浄化・学校教育分野への支援・EMによる古代米栽培やケナフ栽培などの受託栽培事業など、活動内容も広がり充実が着実に積み重なっているように思います。また、会員各位の活動が近隣地域への参考になっているようで、多くの視察研修を受け入れるケースが増えていることは素晴らしいことと思っています。

今年は、こうした今までの活動分野をより高めることと同時に、地域社会により役立つ活動になるように心がけ、そして、早く一人前の NPO 法人になるべく、自ら育つ努力をすることが今年の重要なテーマの一つです。

会員の皆様のご健康とご活躍をお祈りします。



## NPO 法人のあるべき姿を目指して・・・

事務局長 中庭 三夫

素晴らしい天気にも恵まれた中で新年を迎えました。昨年は、多くの皆様のご指導とご協力をいただきありがとうございました。

私たちは、EM(有用微生物群)を媒体に、循環型の社会づくり活動に取り組んでいます。おかげさまで取り組んできた各々のテーマで形が出来つつあります。急テンポで誕生している NPO 法人です。時代の要請とは言え、一般の企業が行う経理処理と同等の管理など、今は、煩雑だけが目立っています。NPO のあるべき姿を模索している状況です。また、活動の多くが手弁当活動。続けられる活動でなければ意味がありません。昨年、事務局も3人による輪番体制になりました。インターネットのインフラ整備にも新年早々に取り組み情報の受発信環境も整えたい。

活動資金の調達と奉仕の精神とのバランスをどのように考えれば良いか「NPO 法人のあるべき姿」を学ぶ一年を迎えたように思っています。多くの皆様の変わらぬご指導をお願いします。



## [EM サロン]

毎月第二土曜日に、旧相生小学校において開催している EM サロンには、毎回 20～30 名の参加者を迎えて

- ① EM ストッカーの正しい使い方 ② 生ゴミ堆肥の作り方 ③ 米のとぎ汁発酵液の作り方  
④ EM ボカシⅠ型のつくり方、更に EM ボカシⅡ型のつくり方の講習会をやったところ、なかなかの好評です。EM ボカシⅡ型は冬季期間中は中断して春 3 月から再開する予定です。

## [河川浄化活動]

上渋垂町 5 号排水路の臭気とヘドロの減減をはかるため、河川課と協働による実験を、4 月から 11 月まで行った。

毎週火曜日に EM 活性液を灌中、EM 泥ダンゴを投入して、気温・水温・ヘドロの堆積量を測定し、排水路の変化の状況を観察した。当初はヘドロの堆積量が 60cm あったものが半減して 30cm 以下となり実験の成果を認める。

11 月末に、実験結果を市河川課に対し報告書を提出いたしました。



## [ケナフ委託栽培事業]

平成 15 年度において、地場産センターから委託を受け、ケナフ栽培事業を行う。5 月 14 日に種蒔き(10000 粒)を行い、5 班に管理分担して、除草・倒れ防止作業など行う。ケナフは 10 月下旬にオクラに似た花をつけ 5～6m にも成長した。11 月中旬には霜にあたって葉が落ちてしまう。

11 月 24 日に大勢の会員の協力を得て、ノコギリを使っての刈り取り作業を行った。1 月になってから皮むき作業を行う。

刈り取ったケナフは、主に紙すき用のパルプ材として利用できるように業者に加工委託します。学校関係からのリクエストに基づいて提供していきます。



\* みどりちゃんから\*

NPO 法人『足利水土里探偵団』のさまざまな事業活動の様子をレポートしました。皆様からの、ご提案・お便りなどお待ちしております。

編集委員 中庭三夫 山崎 泉 須藤弘子 黒子富美恵  
内田芳江 石井章江 大塚久子 近藤久子